

科目名	音楽学の課題	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	2	年次	2

### ＝授業科目の目標＝

音楽学とは如何なる学問であり、今日、どのような課題を抱えているのかにせまる講義です。

音楽学の来し方行く末を理解するために必要な知識を身につけることを目標とします。

日常生活に中での音楽との関わりを、学として認識し、論ずることができる能力を身につけることを目指します。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

真摯な態度で、音楽を学び享受できる学生諸君、感性、知性の両面から音楽を楽しみたい学生諸君の受講を求めます。よって、大学生が取るべき受講態度を、必ず実践すること。

高校卒業程度の世界史(特に文化史)の時代区分の知識を前提とします。

ノートは、自分なりの方法で、しっかりとまとめておくこと。

### ＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：講義の目標や内容の確認及びアンケート実施
- 2回 「音楽」とは何か？
- 3回 「音楽」の誕生
- 4回 「音楽学」とは？(1) 広義の音楽学
- 5回 「音楽学」とは？(2) 広義の音楽学の分類(その1)
- 6回 「音楽学」とは？(3) 狭義の音楽学
- 7回 「音楽学」とは？(4) 狭義の音楽学と音楽美学の違い
- 8回 「音楽学」とは？(5) 狭義の音楽学の誕生
- 9回 インターミッション
- 10回 「音楽学(狭義)」の発展と広がり(1)
- 11回 「音楽学(狭義)」の発展と広がり(2)
- 12回 「音楽学」と今後の課題(1)
- 13回 「音楽学」と今後の課題(2)
- 14回 予備
- 15回 まとめ
- 16回 テスト

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

評価は、周到な予習・復習に基づく能動的な授業への参加がなされているか否か、また、その結果としての習熟度がどうであったかで行ないます。

つまり、テスト・レポートの成績及び平常点、出席状況を勘案して評価します。

テストは、二部構成で実施し、第一部は、講義の最終回に実施し、第二部は、試験期間の所定の日を実施します。この2日間の試験を必ず受験してください。

第一部では、自筆のノート持ち込み可で、ペーパーテストを実施します。

第二部では、ペーパーテストの返却講評と、確認テスト(原則として持ち込み無し)を、行ないます。

具体的実施方法については、講義中に説明します。

**=テキスト（必携）=**

特になし（必要に応じてプリントを配布します。）